

目次

口 絵	
序	都幾川村長 田中 郁也
発刊のことば	都幾川村教育委員会教育長 宮崎 政治
発刊にあたって	都幾川村史編さん委員会委員長 大野 養平
監修のことば	埼玉大学名誉教授 小野 文雄
凡 例	

目次	(一)
写真・図・表目次	(二五)
『民俗編』の章構成	(二九)

第一章 家とムラ	
第一節 概 観	三
家・村と民俗／家と家族／親族のネットワーク／ 村とムラ	
第二節 家と家族	八
一 家族の生活	八
(一) 暮らしの場としての家	八
一家団樂の場／家と屋敷	
(二) 家族の役割	一〇
主人と主婦／子供と老人	
二 家の制度	一三
(一) 家永続の願い	一三

(二) 家の分立	一六
家の中継と家例／祖先の祭祀	
相統と分家／隠居分家	
第三節 同族と親類	一八
一 本家と分家	一八
(一) 同族の系譜	一八
イツケのまとまり／同族神の祀り	
(二) 本分家のつきあい	二〇
イツケの手伝い／イイ仕事	
二 親類と縁組	二三
(一) 親類の構成	二三
二つの親族／親類の範囲	
(二) 親類のつきあい	二四
嫁と実家／葬式と親類	
第四節 相互扶助のしくみ	二七
一 共同と労働	二七
(一) 共同の労働	二七
生産と共同／村仕事としての道普請	
(二) 共有地と共有物	三〇
共有地と共有林／共有物の諸相	
二 ムラのつきあい	三三
(一) 近所つきあい	三三
さまざまな近所つきあい／五人組・隣組・モヨリ	
(二) 組合とつきあい	三五
組合の諸相／葬式組	
第五節 ムラの秩序と社会階層	三八
一 ムラの諸集団	三八

(一) 子供仲間と若者仲間	三八	(二) 棚田と稲作	六八
子供仲間と年中行事／若者仲間から青年団へ		棚田を造る／水利／種籾／田起こし・代掻き／	
(二) さまざまな集団	四〇	施肥／種まき／田植え／除草と害虫駆除／稲刈り／	
氏子の組織／諸集団の諸相		脱穀・調整	
二 ムラの階層	四二	(三) 稲作儀礼	七五
(一) 家格と階層	四二	二 畑の仕事	
旧家の伝承／家格と祭祀		(一) 麦作り	七七
(二) 階層と経済	四五	耕起／整地／サクキリ／播種／施肥／麦ふみ／	
地主と小作人／階層と負担		中耕／土入れ／麦刈り／麦上げ／脱穀・調整／	
第六節 ムラの組織と運営	四七	俵詰め／麦搗き	
一 ムラの景観と地域区分	四七	(二) 雑穀	八三
(一) ムラの景観	四七	粟／稗／黍／大豆／小豆／ソバ	
さまざまな集落／耕地と山野		(三) イモ類	八五
(二) ムラの範囲と地域区分	五〇	サツマイモ／コンニャクイモ／サトイモ	
ムラの境／ムラの地域区分		(四) そ菜類	八七
二 ムラの運営	五三	大根／白菜	
(一) ムラの役職	五三	(五) ミカン	八八
ムラの運営と役職／役職の選出法		ミカンの栽培／手入れ／流通圏	
(二) ムラの寄合	五五	(六) 畑作儀礼	八九
常会の場／ムラの議決法		予祝儀礼と年占／播種儀礼／播種の禁忌／収穫儀礼	
第二章 日々の仕事		三 養 蚕	九一
第一節 概観	六一	(一) 養蚕の盛衰	九一
農林業／職人／水車／交通・運搬		(二) 蚕の飼育から上蔭まで	九二
第二節 田畑の仕事	六七	養蚕の回数／桑の栽培／掃き立て／飼育／上蔭／	
一 稲 作	六七	出荷／真綿取り	
(一) 水田と水利	六七	(三) 養蚕信仰	九七
		蚕神様／越生の五大尊／オシラコウ／	

送神祭と養蚕信仰

第三節 山林の仕事

一 用材の生産

(一) 造林

樹種／苗木と植え付け／下刈り／枝打ち／

雷起こし／除伐と間伐

(二) 伐採

伐採／カワムキとタマヅメ

(三) 搬出

背負いだし／ソリ／ジグルマ／索道

(四) 製材

木挽き／木挽きの道具／屋根板割り

(五) 山の神信仰

山の神／山の神の日／山仕事の儀礼

二 炭焼き

(一) 変遷・経営

(二) 炭の原木

原木／原木の売買／伐採と運搬／タマギリ／

シロケシとクロケシ

(三) シロケシの技術伝承

カマツキ／キゴシラエ／タテコミ／焼成

(四) クロケシの技術伝承

カマツキ／キゴシラエ／焼成

(五) 出荷

俵編み／俵から袋へ／検査

(六) 儀礼と禁忌

儀礼／禁忌

三 山村の副業

(一) 椿の栽培

栽培／出荷

(二) トロロアオイの栽培

(三) 竹縄作り

竹縄／竹縄作り

(四) 柏皮の採取

柏皮の用途／柏の皮むき／柏皮の売買

第四節 村の職人

一 建具屋

都幾川建具／原材料／制作用具／仕事場／

出荷・販売／修業／職人の信仰

二 鍛冶屋

鍛冶／製品／素材と制作工程／修業と生活

三 唐臼屋

唐臼屋／制作工程／糎すり

四 籠屋

むらの籠屋／素材と道具／制作と修理／販売

五 石積み職人

山村と石垣／砂防堰堤工事／組織と労働／

堰堤の構造と石材／石割りと石運び／石積み

六 醤油屋

明覚の醤油作り／磁気と行動範囲／諸味作り／

醤油しぼり

第五節 水車

一 村内の水車

二 水車の習俗

一三二

一三二

一三三

一二五

一三三

一三五

一三一

一三一

一三三

一三五

一三八

一四三

一四三

一四三

一四三

一四三

一四三

一四三

一四三

一四三

一四三

一四三

一四三

一四三

一四三

一四三

一四三

(一) 穀物用水車	一五六	一家の神々	一八三
(二) 田中の車／正蔵院車／その他の水車		(一) 屋敷神	一八三
(三) 繭乾燥用水車	一六〇	祭神と伝承／信仰・利益／祭日／位置	
(三) 機織り用水車	一六一	(二) 同族神 (イツケの神)	一八六
(四) 製材用水車	一六一	(三) 屋内神	一八八
大野の製材所／泉川製材所		祭神と配置／大神宮様／オカマ様／恵比寿様／ 床の間／仏壇／年神様／聖徳太子／井戸神様／ 便所神様／戸守り	
第六節 交通・運搬	一六五	二 鎮守と地域で祀る神々	
一 道と峠	一六五	(一) 鎮守と地域で祀る神々の特徴	一九二
(一) 村内の道	一六五	氏子の範囲／年間行事の類型／団子投げの行事／ 八坂神社の天王様／ささら獅子舞の奉納	一九二
(二) 村外への道	一六六	(二) 明覚の鎮守と大字で祀る神々	
越生への道／小川への道／吾野への道／秩父への道		1 番匠 八幡神社	一九八
(三) 道標	一七〇	歴史と信仰／氏子組織／行事	
(四) 道普請	一七二	2 番匠 岩淵神社	一九九
二 運 搬	一七二	歴史と信仰／氏子組織／行事	
(一) 人力運搬	一七二	3 本郷 八坂神社	一九九
背負子／背負籠／天秤棒／モッコ		歴史と信仰／氏子組織／行事	
(二) 畜力運搬	一七五	4 別所 八剣神社	二〇一
牛馬		歴史と信仰／氏子組織／行事	
(三) 車両運搬	一七六	5 田中 小御嶽社	二〇二
ジグルマ／運送馬車		6 桃木 八幡神社	二〇二
(四) 道路交通の変遷	一七六	歴史と信仰／氏子組織／行事	
①一九二〇～三五年	②一九四〇年代	7 関堀 愛宕社	二〇三
③一九五五年前後	④一九六〇年代	歴史と信仰	
	⑤一九七〇年代	8 馬場 子権現社	二〇四
第二章 神仏への信仰			
第一節 概 観	一八一		
第二節 家と村の神々	一八三		

9	瀬戸 雷電神社 歴史と信仰／氏子組織／行事	二〇四	5	櫛平 稻荷神社 歴史と信仰／氏子組織／行事	二二二
10	大附 日枝神社 歴史と信仰／氏子組織／行事	二〇五	6	櫛平 八坂神社	二二三
11	大附 八坂社 歴史と信仰／氏子組織／行事	二〇五	7	櫛平 浅間神社	二二三
(二)	平地区の鎮守と地域で祀る神々	二〇六	8	櫛平 大洗磯前神社	二二三
1	西平 萩日吉神社 歴史と信仰／氏子組織／行事	二〇六	第三節 寺と堂		二二四
2	西平 多武峯神社 歴史と信仰	二〇七	一	村内の寺院と堂の特徴	二二四
3	西平 牛頭天王宮 歴史と信仰	二〇八	二	明寛地区の寺と堂	二二七
4	西平 奥畑の神明社 歴史と信仰／行事	二〇八	1	本郷 観音寺／薬師堂／都地波堂	二二七
5	西平 越瀬の諏訪社 歴史と信仰	二〇八	2	別所 月窓寺／不動堂	二二九
6	雲河原 四幡神社 歴史と信仰／氏子組織／行事	二〇九	3	桃木 太子堂	二三〇
(四)	大柵地区の鎮守と地域で祀る神々	二一〇	4	馬場 徳昌院／観音堂	二三一
1	大野 大野神社 歴史と信仰／氏子組織／行事	二一〇	5	瀬戸 咬円寺	二三三
2	大野 八坂神社 歴史と信仰	二一〇	6	大附 普門寺／愛宕権現堂／地藏堂／薬師堂	二三三
3	大野 諏訪神社 歴史と信仰／氏子組織／行事	二一一	三 平地区の寺と堂		二三三
4	大野 熊野神社 歴史と信仰／氏子組織／行事	二一二	1	西平 慈光寺／観音堂／靈山院／正法寺／全長寺／女人堂／ 小幡堂／森戸の不動堂／十王堂／落合の薬師堂／ 矢所の薬師堂	二三三
			2	雲河原 不動堂	二三八

四 大柗地区の寺と堂		一三八			
1 大野		一三八			
竹ノ上堂／薬師堂／殿谷戸堂					
2 柗平		一三九			
堂久保堂／権田堂					
第四節 講		一三〇			
一 講の概要		一三〇			
二 講の範囲		一三一			
三 信仰的な講		一三一			
オシラ講／オオアンビ／山の神講／念仏講／庚申講／ 観音講／甲子講／天神講／稻荷講					
四 経済的な講		一三六			
太子講／頼母子講（倉無尽）					
五 社寺に参拝する講		一三七			
1 村内の社寺に参拝する講		一三八			
萩日古神社講／慈光寺観音講					
2 村外の社寺に参拝する講		一三八			
三峰講／大日講／釜伏講／宝登山講／鬼神神社講					
3 県外の社寺に参拝する講		一三九			
榛名講／大山講／板倉講／世良田天王講／ 太田の吞龍様／伊勢講／木曽御嶽講／戸隠講					
六 金石文・古文書にみる講		一四二			
1 金石文にみる講		一四二			
庚申講／月待講／その他の講					
2 古文書にみる講		一四三			
万控覚之帳／榛名講代参簿／大山道中日記／ 伊勢代参講					
第四章 年中行事					
第一節 概 観					一四九
第二節 正月の準備					一五一
一 門松・注連飾り					一五一
二 年神棚					一五三
三 餅つき・お供え					一五五
四 書き初め					一五九
第三節 正月					一六一
一 大晦日					一六一
二 元旦・三が日					一六四
三 山入り・仕事始め					一六八
四 四日・タナサガシ					一六九
五 オタキアゲ					一六九
六 七草					一七〇
七 蔵開き					一七一
第四節 小正月					一七三
一 モノヅクリ・マユダマ					一七三
二 二十四日・十五日					一八〇
三 十六日					一八二
四 恵比須講					一八三
第五節 春					一八六
一 次郎の朔日					一八六
二 節分					一八六
三 コト八日・針供養					一九〇
四 三月の節供					一九〇
五 彼岸					一九二

六 お釈迦様	二九二		
七 端午の節供	二九四		
第六節 夏	二九六		
一 ケツアブリ	二九六		
二 農休み	二九七		
第七節 盆	二九八		
一 カマノクチアケ	二九八		
二 七夕	二九八		
三 盆の準備	三〇〇		
四 盆迎え	三〇四		
五 十三日から十五日、盆の儀礼食	三〇八		
六 送り盆	三二〇		
七 盆がら	三二一		
八 盆踊り	三二二		
第八節 秋	三二四		
一 朔	三二四		
二 二百十日・二百二十日	三二四		
三 十五夜・十三夜	三二四		
第九節 冬	三二七		
一 イノコ・十日夜	三二七		
二 オカマ様	三二八		
三 冬至	三二九		
第五章 祭と芸能	三三三		
第一節 概観	三三三		
第二節 祭り	三三四		
一 夏祭り	三三四		
番匠祭り／本郷の天王様／桃木の天王様／			
大附の天王様／西平・下郷の天王様／			
平宿の天王様／西平・森戸の天王様／雲河原の天王様／			
大野の天王様／櫛平の天王様			
二 秋祭り	三三二		
三 大野の送神祭	三三二		
(一) 由来	三三二		
(二) 名称・祭日	三三二		
(三) オヒマチ	三三三		
(四) 祭り当日	三三三		
四 萩日吉神社の流鏝馬	三三九		
(一) 由来	三三九		
(二) 名称・祭日	三三九		
(三) 組織	三四三		
(四) 準備	三四三		
(五) ヨイマチ	三四四		
(六) 祭り当日	三四五		
(七) 祭りが終わって	三四五		
第三節 芸能	三五一		
一 萩日吉神社の神楽	三五一		
(一) 由来	三五一		
(二) 所役・楽器等	三五四		
(三) 舞う場	三五四		
(四) 期日と座敷	三五四		
二 瀬戸のささら	三五九		
(一) 由来・祭日	三五九		
(二) 組織	三五九		

(三) 所役と用具	三六〇
(四) 演目	三六一
花がかり／雌獅子隠し／一ツ花	
(五) ささらと祭り	三六三
練習／祭り当日	
三 大附のささら	三六五
(一) 由来・祭日	三六五
(二) 組織	三六五
(三) 所役と用具	三六五
(四) 演目	三六六
四方がかり／花がかり／一ツ花／千鳥ぬけ／ 女獅子隠し	
(五) ささらと祭り	三七一
四 西平・上サのささら	三七二
(一) 由来・祭日	三七二
(二) 組織	三七三
(三) 所役と用具	三七三
(四) 演目	三七四
岡崎／弊がかり／縁掛け／花掛り／女獅子隠し	
(五) ささらと祭り	三七八
練習／祭前日	
五 雲河原のささら	三八〇
(一) 由来	三八〇
(二) 組織と用具	三八〇
(三) ささらと祭り	三八一
六 大野のささら	三八二
(一) 由来・祭日	三八二

(二) 組織	三八二
(三) 所役と用具	三八二
(四) 演目	三八三
一庭(弊がかり)／二庭(一つまり)／ 三庭(三つまり)／四庭(竿がかり)／願ひまひ／ 五庭(花がかり)／六庭(女獅子かくし)／ 七庭(しらは)	
(五) ささらと祭り	三八七
練習	
七 樽平のささら	三八九
(一) 由来・祭日	三八九
(二) 組織	三八九
(三) 所役と用具	三九〇
(四) 演目	三九二
宮参り／四方排／弊掛／願彫／三つ毬／花掛／ 立花／一つ毬／狐つり	
(五) ささらと祭り	三九七
八 西平宿の屋台囃子	三九八
(一) 由来	三九八
(二) 組織	三九八
(三) 練習	三九八
(四) 曲目	三九九
九万作	三九九
第六章 身の回りの生活	
第一節 概観	四〇三
第二節 衣生活	四〇五

一 仕事着・普段着	四〇五		
二 学校での衣服	四一〇		
三 通過儀礼と衣生活	四二二		
四 衣類の調達	四二六		
第三節 食生活			
一 普段の食事	四二〇		
(一) 食事	四二〇		
(二) 主食	四二二		
(三) 副食	四二三		
(四) 間食	四二五		
(五) 保存食	四二六		
(六) 調味料	四二七		
味噌の作り方／醤油の作り方			
二 ハレの日の食物	四二八		
(一) 餅	四二八		
(二) 粥	四二九		
(三) 団子	四二九		
(四) まんじゅう	四三〇		
(五) めん類	四三〇		
(六) 赤飯	四三〇		
(七) その他	四三一		
第四節 住まい			
一 屋敷構え	四三二		
二 付属施設	四三二		
(一) 木小屋・物置	四三二		
(二) 蔵	四三三		
(三) 井戸	四三三		
(四) 屋敷神	四三四		
三 家造りと住まい方	四三四		
(一) 建築儀礼	四三四		
(二) 間取りと住まい方	四三七		
間取りと住まい方／土間／カマド／風呂／流し／			
便所			
(三) 屋根	四三九		
茅葺き屋根／杉皮屋根			
四 家々の生活	四四二		
(一) 大野養平家	四四二		
住まい方／屋根替え			
(二) 吉田昭一郎家	四四四		
住まい方／屋根替え			
(三) 新井哲夫家	四四七		
住まい方／家訓・禁忌など			
(四) 坂本友次郎家	四四八		
住まい方			
(五) 武藤重慶家	四五〇		
住まい方			
(六) 坂下信行家	四五二		
住まい方／屋根替え／付属施設／家訓・禁忌など			
(七) 武田寛巳家	四五四		
住まい方／付属施設			
(八) 柿沼良一家	四五六		
住まい方			
(九) 峰岸計彦家	四五七		
住まい方／屋根替え			

(一〇) 市川陽一家

四五九

住まい方／付属施設／家訓・禁忌など

五 成人

成人式

四八四

(一一) 正木日吉家

四六一

第四節 婚姻

一 婚約

四八五

第七章 人の一生

第一節 概観

四六七

第二節 産育

四六九

一 妊娠以前

四六九

子授け祈願

二 御祝儀

四八八

二 妊娠から出産まで

四六九

妊娠／安産祈願／帯祝い／妊娠中の禁忌／出産／

産湯／産婆／産神／ノチザン／へその緒／チブク／

産婦の食事／乳つけ

三 御祝儀後

四九二

嫁の披露／里帰り／カネツケ

三 産育

四七三

お七夜／アカダキ／カミスリ／お宮参り／

お食い初め／初誕生／夜泣き封じ／虫封じ／

ホウソウオクリ／捨て子／初正月／初節供／

三つ身の祝い／子育て祈願／帯解き

第五節 厄年と年祝い

四九三

厄年／年祝い

第六節 葬送

四九四

一 死と霊

死の予兆／死水／臨終直後の処理／

隣組・葬式組の役割／枕団子と枕飯／飾り団子／

サタ／ユカン／死装束／ニツカン／通夜

四九四

第三節 子供の成長から成人へ

四八〇

一 子供組

四八〇

天神講／十日夜

二 葬儀

四九九

二 日常生活と子供

四八一

遊び／手伝い

葬儀の総称と目取り／穴掘り／トムライ／

出棺・告別式／野辺送り／埋葬／後飾りと忌中拌み／

清めの食事／お念仏／喪家への贈り物／香典返し

四八二

三 一人前

四八二

一人前の基準／大山詣で

三 村民葬

五〇三

四 青年団

四八三

組織・加入／活動内容

四 忌明け・年忌

五〇四

ブク／墓直し／初七日／四十九日／百か日／初彼岸／

五 神葬祭

五〇六

通夜／葬儀・野辺の送り／埋葬・帰家祭／
位牌・墓標／忌明け・年祭

第八章 口頭伝承

第二節 概観

第二節 伝説

一 関堀の愛宕石椽

五二一

二 滝山の布御前

五二三

三 妙覚郷の西行戻りの話

五二四

四 西行橋

五二六

五 どうどう堰

五二七

六 西行の見返り桜

五二八

七 女鹿岩・男鹿岩の大蛇の恋

五二八

八 丹仁奇譚

五二八

九 子食い仁王

五二二

一〇 夜荒しの名馬

五三二

一一 慈光山の天狗

五三三

一二 鐘嶽の鐘

五四四

一三 稚児岩

五四四

一四 稚児方墓

五四四

一五 雲河原の地名のはなし

五五五

一六 打出

五五六

一七 どんどん

五五六

一八 滝宮の穴と井戸

五五六

一九 天狗のいたずら

五五七

二〇 天狗の印形

五八

二二 多武峯の天狗ばなし

五九

二三 湯本

五三〇

一三 目なし薬師

五三〇

二四 弓立山の話

五三一

一五 剣ノ峰

五三二

二六 踊り岩と蛇穴の話

五三二

二七 およそ地藏

五三三

二八 蛇根子

五三三

二九 狼の恩返し

五三四

三〇 狼岩

五三四

三一 狼の教え

五三五

三二 雨乞い松

五三六

三三 雨乞いと行人松

五三六

三四 ひとつ眼のほうしん玉

五三七

三五 ひとつ眼と送神祭

五三七

三六 平の御神輿

五三七

第三節 民間知識

五三八

一 前兆・予兆

五三八

天候・気象の予知／吉凶・事変の予知

二 民間療法

五三九

呪術的療法／祈願による療法／葦草による療法／
動物を薬とする療法

動物を薬とする療法

三 俗信

五四一

人の一生に関するもの／住居に関するもの／
年中行事に関するもの／作物／その他

四 雨乞

五四三

参考・引用文献一覧	五四五
都幾川村史編さん事業刊行物	五四七
話者・写真提供者・協力者	五四八
都幾川村史編さん関係者	五五一